

# 敦賀市議会

# 議会だより

9月  
定例会

## CONTENTS

- 常任委員会審査報告・・・2～5
- 特別委員会中間報告・・・6～7
- 令和2年度議会報告会・・・8
- 一般質問・・・9～14
- 審議結果一覧・・・15
- 議会日誌、12月定例会の日程・・・16



国道8号 敦賀空間再整備完了



陸上競技場 改修工事完了

視覚障がいのある方等を対象として音訳（CDに録音）された議会だよりもあります。ご希望の方は敦賀市社会福祉協議会までご連絡ください。敦賀市社会福祉協議会〔電話 0770-22-3133（代）〕

● 予算決算  
● 常任委員会 ●

〔第83号議案〕  
令和2年度敦賀市一般会計補正予算(第12号)

質疑

◎誘客多角化促進事業費

問 コロナ禍において、敦賀市は様々なイベントを中止しているが、今回のイベント開催を機に、行政が主催するイベントを再開していくと考えればよいか。

答 これまで、花火大会や敦賀まつり、敦賀マラソン等の様々なイベントが中止となってきたが、今回のイベントは屋外で実施するものがほとんどであり、屋内においても、収容人数に制限をかけることが可能である。一概に全てのイベントを開催するとは言えないが、今回、コロナ対策を行いながらイベントを実施することで、多くのノウハウを得ることが可能で、今後のイベント開催を判断する材料になると考えている。

自由討議

敦賀のセールスポイントである北前

船と鉄道遺産が日本遺産に登録されたタイミングで、タイムリーにイベントを行うことは、観光客のためだけでなく、市民にとっても気運を高めることに繋がると思う。コロナ禍の中で、いつまでもマイナス面を考えるのではなく、商工や観光業界の収入減をカバーするためにも、イベントは開催するべきだと思ふ。

また、今回のイベントを一過性のものであるのではなく、関係者に見ても行うことで、次年度に繋がる継続性があるものにしてほしい。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第84号議案〕  
令和2年度敦賀市一般会計補正予算(第13号)

質疑

◎コミュニティバス運行事業費

問 コロナ禍の影響による減収分を補償するということだが、今後も補償を続けていくのか、その線引きを含めた考え方を伺う。

答 コロナ禍については、今後第3波が来るのか、収束していくのか、見

通しがつかない状況であるが、コミュニティバスは市民に必要な交通基盤であり、安定した運営を維持していく必要があるため、今後も利便性や費用対効果を踏まえて、必要に応じて対応していく。

問 増便するバスは、現在運行しているバスの後方に続いて走行することだが、工業高校前のバス停付近には交差点があり、混雑が予想される。どのような対応を考えているか。

答 ある程度の距離をとって運行するなど、安全面での工夫については事業者としっかり協議を行う予定である。

自由討議

敦賀きらめき温泉リラ・ポートに関しては、『敦賀きらめき温泉調査委員会運営費』『敦賀きらめき温泉あり方検討委員会関係経費』の必要性を確認することができた。敦賀市グラウンド・ゴルフ場も含めた管理運営費についても、今回の補正で必要な経費を整理し、改めて予算管理することについては評価できる。敦賀きらめき温泉調査委員会やあり方検討委員会については、今後の施設の方向性を決める判断材料になるので、業者に委託する際にも、市の思いを込めて応募要件を作るなど、予算を有効に活かすよう努力をしてほしい。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第87号議案〕  
令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第5号)

質疑

◎新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金

問 782名の計上分は、敦賀病院に勤めている全員分ということか。

答 委託業者の電話交換手など、支給対象基準に該当しない職員もいることから、全員が対象ではないが、医師、看護師、検査技師、事務職員などの病院職員関係及び清掃、看護助手等の委託業者関係の方については、ほぼすべての方が対象となっている。

問 支給対象者の基準は国が示したのか。  
答 そのとおりである。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

〔第98号議案〕  
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第14号）

質疑

◎夜間景観整備事業費

問 金ヶ崎緑地でのプロジェクトンマッピング及びイルミネーションの運営について、桜に与える影響を踏まえ、開催の期間をどうするのか、併せて伺う。

答 プロジェクトンマッピングは、金ヶ崎緑地において、1年を通して計画しているが、週末の限定とするか、平日も行うかは、公募型プロポーザルの提案等も踏まえながら、集客等の効果を考え、今後検討していく。

桜並木のイルミネーションについては、造園業者等に相談しながら進めていき、早ければ今年の年末から来年春の桜の開花までの3か月程度を考えている。

◎夜間景観整備事業とは

北陸新幹線敦賀開業に向けた誘客促進を図るため、金ヶ崎緑地のボードウォーク等の地面にプロジェクトンマッピングの投影を行うとともに、敦賀郵便局前交差点からきらめきみなと館までの桜並木にイルミネーションを設置し夜間景観の創出を行う事業

問 地元住民の理解や、イルミネーション等から赤レンガ倉庫内のジオラマやムゼウムへの誘客効果を生むための連携等について伺う。

答 周辺住民の理解については、予算案の段階から進めてはいるが、予算が認められたのち、本格的に協議させていただく準備を進めている。周辺施設との連携については、過去に連携した実績も参考にしながら今後、検討していきたい。

問 民間事業者も県の補助対象となっているが、市と民間事業者と連携してイルミネーション事業を進めていく計画があるのか。

答 民間と連携して進めていきたいという思いはある。行政だけでなく、民間が参入することこそが観光振興につながることを考えるため、民間への呼びかけを行い、今後必要に応じて予算要求することも検討していきたい。

問 飲食・物販の面で、露店商の方々と協議はされているのか。

答 金ヶ崎緑地の駐車場にケータリングカーが出店できる設備が整備されているため、プロジェクトンマッピング供用開始のタイミングで商売が始められる体

制を整えたいと考えている。また、プロジェクトンマッピングで割引券を映し出し、それを写真にとって飲食店で利用できる仕組みを作り、商工会議所のうまいもんマップ等と連携し、金ヶ崎と市内飲食店との往来を図りたい。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第92号議案〕  
令和元年度敦賀市歳入歳出決算認定の件

討論

◎入湯税

問 滞納に対して督促や納税指導等が行われたと思うが、毎月繰り返し行ってきたのか。

答 滞納があれば、納税相談、催告等を経た上で国税徴収法に則り、滞納処分の手続きを適切に実施している。

問 具体的にはどのような対応を行っているのか。

答 一般論となるが、滞納者に対しては財産調査、差押さえ等の滞納処分を行っている。

◎ハーモニクスポリス構想先導事業費  
問 産業構造及びエネルギー構造の高度化に向けた事業実施支援業務におけるマッチングなどの成果を伺う。

答 産業構造の高度化については、企業へのヒヤリングを実施し、産業間連携推進事業費補助金の各事業のサプライチェーン構築に向けて、各事業の取引先となる企業を調査した。調査結果に基づき、今年度にはサプライチェーン先となる企業の本市への誘致に向け、補助金交付先企業への協力依頼等の協議を依頼している。また、エネルギー構造の高度化については、水素ドローンの本市での社会実験に向け、市内事業所等へのニーズ調査を実施した。

◎高齢者外出支援事業費

問 外出支援券の交付は本人の申請に基づくものか。またいつ交付されるのか伺う。

答 申請に基づき交付する制度となっている。高齢者の積極的な社会参加の促進及び介護予防を含めた外出の機会の確保を図るため、毎年3月下旬に80歳以上の方を対象として申請書を送付している。申請は申請書送付以降より受付しており、準備ができ次第、随時、支援券を交付している。

### ◎観光協会事業費補助金

**問** 予算額と決算額との差額2518万9千円分が、本来開催される予定であった花火大会の開催事業費補助金分だったのか。また、花火大会開催事業費補助金が0円で報告されているが、花火大会が中止になったとはいえ、広告宣伝費等の費用は発生しなかったのか。

**答** 差額については、観光協会の市補助金の減額分の合計で、そのうち、花火大会開催事業費補助金の全額となる2491万9千円が含まれている。敦賀観光協会が実施するとうろう流しと大花火大会に対する市補助金として、花火大会開催事業費補助金のほかにも観光協会運営事業費補助金の中に関係経費が含まれており、広告宣伝費や安全対策経費等の費用約1730万円を支出した。

### ◎働き方改善推進事業費

**問** 教員の超過勤務時間は平成30年度と比較し、減少しているのか。

**答** 1か月当たりの時間外勤務時間が80時間以上となる教職員の割合を独自調査したところ、小学校6・3%、中学校11・6%の減少となった。

### 自由討議

投資した金額に対する成果という視点で見たと、まちづくり法人運営事業費補助金については、決算額等金銭面の確認だけでなく、補助した分に対する効果を確認するという見方が必要だと思う。不用額や繰越金額が大きい事業については、細かな点や理由についても確認させてもらったので、事業の目的と成果がおさえられた、適切な決算であると考えます。

決算審査を通して成果を確認した際に、まちづくりや賑わいづくり等に関しては、数字として表すことが難しいものが多い。国道8号空間が綺麗に整備されたことで、中心市街地も変化していくと思うので、神楽商店街等も含め、これまでの事業の成果が出てくることを期待したい。

### 質疑 賛成多数

#### 原案どおり認めるべきものと決定

〔第93号議案〕  
令和元年度市立敦賀病院事業決算認定の件

### ◎職員の変動状況

**問** 医師が8名増えているが、配属先について伺う。

**答** 医師8名のうち、5名は初期研修医である。残りの3名の配属先は、神経科精神科、小児科、消化器内科にそれぞれ1名の配属となっている。

### 採決 賛成多数

#### 原案どおり認めるべきものと決定



### 総務民生 常任委員会

〔請願第2号〕  
日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願

**意見** 都内では高校生が署名活動を行っている動きもあり、採択すべきであると思う。

### 討論

**反対** 核兵器のない世界は全ての人が望むことだが、現実的には難しい。核保有国こそが条約を批准すべきであり、日本の役割としては、保有国が賛同するよう働きかけることだと思う。現時点で、日本政府に批准を求める意見書を提出することは反対である。

**反対** これまで、核保有国・非保有国ともに、核不拡散条約を通して核軍縮が行われてきた。ここに来て核兵器禁止条約を批准することで、保有国と非保有国の対立を深め、かえって後退してしまうという懸念があるため、反対である。

**反対** 核兵器に関しては、禁止の考えを持っていなければならないが、今の日本の立場を考えると難しい部分もある。条約を批准するよりも、国際的な問題として機運を高めていくほうが実効的であると考え、反対する。

### 採決 賛成少数

#### 不採択とすべきものと決定

**意見** 日米の安全保障を基軸として国民の安全が守られているという現実がある中、現時点で請願を採択し意見書を提出するということにはならないと思う。

## 産経建設 常任委員会

〔第94号議案〕

令和元年度敦賀市水道事業利益  
剰余金処分の件

### 質疑

**問** 当年度未処分利益剰余金の処分について、どのような根拠で金額を振り分けているのか。

**答** 当年度未処分利益剰余金1億2531万9031円の振り分けについて、減債積立金には、例年、1000万円を振り分けている。資本金には、令和元年度予算で議決いただき、補填財源として取り崩した、建設改良積立金の9000万円と同額を振り分けている。建設改良積立金には、当年度未処分利益剰余金から減債積立金と資本金へ振り分けた後の剰余金のうち、1000万単位以上となる2000万円を振り分けている。

その後、最終的に残った端数分の531万9031円を翌年度繰越利益剰余金とするものである。

### 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第99号議案〕  
市道西浦2号線色浜トンネル（仮称）工事請負契約の件

### 質疑

**問** トンネルの完成時期と延長について伺う。

**答** 来年10月29日までが工期である。全体の完成については、トンネル工事終了後に、取付道路の舗装や照明灯などを設置する必要があり、目途として令和3年度中に全ての工事を完了させ、令和4年4月から供用開始したいと考えている。また、トンネルの延長は198.1メートルである。

**問** トンネル前後の工事について、今後の補正で予算計上する予定はあるのか。

**答** トンネル工事終了後の舗装や照明灯設置などの工事については、来年度の当初予算で計上する予定である。

### 討論

**反対** 県の事業で県の予算を使って整備を行うべきであると考えため、反対である。

### 賛成

色浜トンネル（仮称）が完成し、西浦地区の災害制圧道路が繋がれば、西浦の住民にとっては、市内への通勤通学時間や緊急車両到着時間の短縮に繋がり、利便性が向上するため、本契約については賛成である。

### 採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



掛かりになると思う。

**意見** 手話は単なるコミュニケーションの手段ではなく、言語として明確に定める必要がある。

**意見** 敦賀市は全国手話言語市区長会に入会するなど、前向きな取り組みをしているが、まだ条例の制定には至っていない。共生社会を全体に広げていくための一つの足掛かりになるのではないかと考え、条例の制定に期待している。

### 討論

**賛成** 現在敦賀市が模索しているコミュニケーション条例も必要であるが、まずは手話が言語として普及することが求められていることから、この請願を採択すべきであると思う。

### 採決

全会一致

採択すべきものと決定



## 文教厚生 常任委員会

〔請願第3号〕

「敦賀市手話言語条例（仮称）」の制定を求める請願

### 意見

今回提出された請願を採択することは、敦賀市が制定しようとしているコミュニケーション条例の大きな足

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

## 原子力発電所 特別委員会

日本原子力発電株式会社関係

### 質疑

**問** 敦賀発電所2号機については、資料の不備により、審査が順調に進んでいないが、事業者に対し、指導などを行っているのか。

**答** 6月に行われた審査会合で原子力規制委員会から調査や対策の検討が不十分であると指摘され、日本原電は資料を再度整理しているが、その作業が非常に膨大であると聞いている。

しかし、前回の報告から3か月が経過していることから、早急に取りまとめ、説明できる資料を作成するよう改めて申し上げたいと考えている。

日本原子力研究開発機構関係

### 問

ふげん及びもんじゅの廃炉に関する市内企業の参画状況について把握しているか。また、市内企業の参画についての申し入れなどを行ってほしいと

思うがいかかか。

**答** 地元企業の参画状況については、廃止措置協定に基づき、概ね3年を目途に定期的に報告を受けているが、市内企業の参入を進めるよう、適宜求めていきたい。

もんじゅ廃炉後の敷地に設置される試験研究炉について

### 質疑

**問** 市は炉型や地域振興について、どのような申し入れを行ってきたのか。また、試験研究炉はあまり雇用を生まないとと思うが、もんじゅ廃炉の際の約束である千人の雇用や地域振興に関して、具体的に申し入れ等を行っているのか。

**答** 試験研究炉に関しては原子力研究、人材育成はもとより、地元の振興に貢献する炉にするよう要望してきており、7月15日の嶺南Eコースト計画推進会議の場でも申し上げている。

9月2日に開催された作業部会の報告において、試験研究炉の今後の検討の基本的考え方として地域振興と人材育成の2つの観点が掲げられたことから、我々の思いが汲み取られたものと

考えている。

試験研究炉は千人雇用を補う1つの柱になると考えているが、人材育成だけではなく新産業の創出などにつながるよう、今後も市の意見を伝えたいと考えている。

令和2年8月27日に行われた福井県原子力防災訓練について

**問** 今回の訓練を受けて、どのような課題があったのか。

**答** 敦賀市では新型コロナウイルス感染症流行下での避難所運営及び広域避難者の受け入れの訓練を行った。この訓練を通して得られた課題は、以下のとおりである。

- ・広域避難者がバスで到着後、一度に受付に殺到し混雑したことから、受付での混雑解消策が必要であること。
- ・屋外に受付を設置したことから、避難者には屋外に並んでもらっていたが、悪天候の場合など時々の自然状況を想定し、避難者にはバスでの待機や、屋内に受付を設置するなど、臨機応変に対応することが必要であること。
- ・炎天下での非接触型体温計やサーマルカメラを使用した体温測定では通常よりも高く検知されることから、炎天

下における体温測定の在り方について検討が必要であること。

・避難所を出入りする方の体温測定が終わっているかの区別ができなかったことから、ネックストラップなどを使用し区別する必要があること。

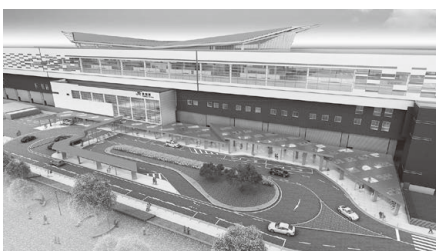
## 新幹線対策 特別委員会

新幹線駅前広場のレイアウト(案)

### 質疑

**問** 新幹線駅前のキャンपी等々のデザインについて伺う。

**答** デザインや構造は駅西を踏襲しつつ、全体的なイメージや色彩等は新幹線駅舎本体と調和のとれた色の選定を行っている。



新幹線駅前広場整備イメージ R2.9月現在

継続費……単年度では支出が終わらない事業について、予算の定めるところにより、その経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって支出することができる経費

繰越明許費……年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費

**問** 散策路連絡橋は敦賀市が整備するのか。

**答** 散策路連絡橋は敦賀市が整備する。昨年度に左岸側の橋台の工事を行った。今年度は、右岸側の下部工事を10月中旬に着手、その後上部工を行う予定。橋の高欄についても新幹線駅舎と調和のとれたデザインや色合いにし、幅員3mの自転車、歩行者が通行できる通路となる。

### 市庁舎建設対策 特別委員会

庁舎整備の推移、見込み等について

6月下旬に建築資材、型枠材の調達に遅延が発生し、工期の管理状況等を精査し、繰越し対応するということが、今議会において繰越しに関する予算を計上した。

大気汚染防止法及び石綿障害予防規則改正に伴い、アスベスト調査(三次)が新たに加わったことから、現在、検体を採取して分析に回しており、今のところは、基準自体が厳しめになっているので、解体費の増加、工期の延長の方向で考えている。

9月議会で繰越予算をお認めいただければ、以降、仮契約し、12月定例議会において、建築と電気、機械、H2 Oneについて、契約変更の議決を賜りたい。

その他付帯工事で、項目にはないが、電話交換機で5000万から6000万が追加になってくる。現在、電話交換機の経年劣化が激しく、機器の入替え時期に来ており、更新については、当初予算で予算化を考慮していたが、庁舎整備に合わせて電話交換機の予算を計上しようと考えている。

新庁舎議場等会議システム設置工事について

応募3者でプロポーザルを7月28日に執り行い、一番評価が高かったのが大和電建株式会社敦賀支店であった。

新庁舎什器・備品計画(案)の概要版について

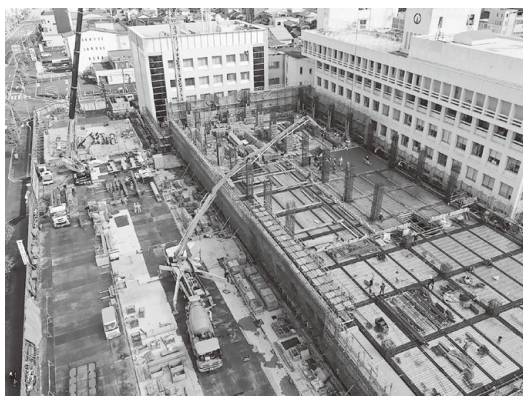
備品計画を策定するに当たっては、オフィス環境調査を実施しており、その調査結果は、新JIS規格の適合品が少ない。新庁舎のオープンフロアに適さない什器・備品が多く、転用が望

ましくない什器・備品が全体の約70%である。整備方針としては、新規購入を基本とした上で、職員が使用する什器・備品を可能な限り転用する。新規購入什器・備品は、今のところ、4150点、1億9800万円である。什器・備品再利用計画については、新庁舎の供用開始が令和4年1月の予定であるが、現庁舎を解体するまでに時間があり、その時間の中で、備品の現地展示販売会等を開催できたらと考えている。まずは、各公共施設へ備品を譲渡していく。次いで、市民及び民間事業者向けに現地展示販売会を行う。オークション等も併用できたらと考えている。

備品計画は、基本的には新しいJIS規格、机はユニバーサレイアウトで整備する。また、背の高い棚は置かないこと等を勘案して備品の整備計画を考えている。



新庁舎多目的スペースイメージ



新庁舎の工事現場写真 R2.9月現在

### 質疑

**問** 新庁舎整備の総事業費比較表について、合計金額は約74億から約73億7000万に減額になっているが、令和2年9月の提示額というのは、総事業費か。

**答** 継続費分、繰越明許分も含んでの総額になっている。

**問** 旧庁舎の解体費について、アスベストの関係で、どのくらい増額になるかと思っているのか。

**答** 含有の有無、含有場所によって工法が変わるため、状況次第では数千単位で変動があると想定している。

## 決 議

9月定例会で、文教厚生常任委員会より決議案の提出があり、全会一致で可決されました。

### ◎敦賀市手話言語条例の制定を求める決議

- 1 手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及に関し基本理念を定め、市、事業者、市民の責務及び役割等を明らかにするとともに、手話の普及のための施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「敦賀市手話言語条例」を早急に制定すること。
- 2 制定にあたっては当事者であるろう者の声を最大限汲み取り策定すること。

## 意見書の提出

9月定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が全会一致で可決され、国会及び関係行政庁に提出いたしました。

### ◎新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。
- 5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

今年度は  
議会チャンネル  
にて放映！

## 令和2年度議会報告会について

今年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議会チャンネルで特別番組の放送を行います。

**放送日 2月14日(日)10時～、15日(月)19時～**

※放送後、市議会ホームページとYouTubeにて閲覧できます。

## 皆さんからのご意見を募集します！

テーマに沿った意見を募集し、議会として市民の皆さんに広く知ってほしいものを選び番組の中でご紹介します。個人宛の回答はいたしませんので、ご了承ください。

**テーマ 「コロナ禍での、地域の助け合いについて」**

**締切 12月25日(金曜日)**

**応募先 メール gikaihoukokukai@ton21.ne.jp FAX 23-1900(様式自由)**

敦賀市議会ホームページの議会報告会ページから、電子申請でも応募が可能です。

**問合せ先 議会事務局 電話22-8157**





## 一般質問 項目一覧

- ◎林 恵子
  - 1 子育て支援について
- ◎縄手博和
  - 1 特殊詐欺への敦賀市の対応について
  - 2 敦賀市の観光資源について
    - (1) 水島のPR
    - (2) 新ムゼウムや金ヶ崎周辺の建物のPR
- ◎立石武志
  - 1 エネルギー政策について
    - (1) 再生可能エネルギー
    - (2) 高レベル放射性廃棄物の最終処理場「文献調査」
    - (3) もんじゅ敷地の試験研究炉
    - (4) 使用済核燃料中間貯蔵施設
- ◎福谷正人
  - 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - 2 新幹線開業に向けた戦略について
- ◎山本武志
  - 1 魅力ある第7次敦賀市総合計画の策定に向けて
    - (1) 基本構想(案)
    - (2) 中期事業計画(案)
    - (3) 審議体制と策定プロセス
- ◎今川博
  - 1 日本遺産を活かした観光振興及び鉄道遺産の現地課題等について
- ◎前川和治
  - 1 金ヶ崎緑地周辺について
  - 2 移住・定住促進について
- ◎山本貴美子
  - 1 公共施設のこれからのあり方について
    - (1) 個別施設計画
    - (2) 立地適正化計画
  - 2 生活困窮者支援について
- ◎馬淵清和
  - 1 産後ケア事業と助産師会からの要望について
  - 2 敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて
- ◎三國真弓
  - 1 避難所の男女共同参画について
    - (1) 女性・子どもへの性暴力に対する危機管理
    - (2) 避難所運営における女性視点の活用
  - 2 広報のLINE活用について
    - (1) 敦賀市の広報の現状
    - (2) LINEを使った広報
- ◎石川栄一
  - 1 駅から始まる地域の活性化について
    - (1) 「書籍」を通じた文化・交流の発信
    - (2) 「音楽」を通じた文化・交流の発信
- ◎豊田耕一
  - 1 障がい者の自立に向けた取組について
    - (1) 市の障がい者の雇用状況
    - (2) 就労系サービスを利用する障がい者の状況
    - (3) 地域生活支援拠点等の整備状況
- ◎浅野好一
  - 1 コロナ禍での防災対策について
    - (1) 避難方法
    - (2) 避難所運営
    - (3) 原子力災害
  - 2 新市庁舎での窓口スマート化について
    - (1) 窓口対応
    - (2) 決済・徴収方法
    - (3) 他機関との連携
- ◎川端耕一
  - 1 金ヶ崎周辺エリアの整備について
- ◎今大地晴美
  - 1 指定管理者制度について
  - 2 リラ・ポートの未利用回数券について
  - 3 金山最終処分場について
- ◎中道恭子
  - 1 敦賀市が目指す地域共生の取組について
    - (1) 地域共生への取組状況
    - (2) 子育て支援と産後ケアの充実
    - (3) 引きこもりの現状と今後の取組
    - (4) 重層的支援体制整備の推進
  - 2 敦賀市のICT教育の現状と今後の取組について
    - (1) GIGAスクール構想の準備状況
    - (2) ICT教育の現状と今後の進め方と期待
- ◎松宮学
  - 1 中小企業者事業継続支援給付金について
  - 2 敦賀市の介護支援制度と介護の現状について

敦賀市議会HPから  
動画も視聴できます。



一般質問



林 恵子  
(市政会)

子育て支援について

**問** 福祉保健部の中でも児童家庭課は、業務の窓口がわかりにくい。子連れで行く場合も多いので、スピーディーに的確に窓口に行けるよう利用者目線で窓口案内表示や人員配置を考えて頂けないか。

**答** 福祉保健部は、特に窓口での業務が中心となる部署となっている。窓口案内表示は、来庁された方がより安心して手続を行うことができるよう新庁舎整備において検討していきたい。

**問** 敦賀市における様々な子育て支援事業において、他の市町の動向を見ていては決して日本一になれないと思うし、市民も日本一を感じることはできないと思うが、市長の見解は。

**答** 子育て環境日本一は、結婚妊娠期間から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施することで実現をしていきたい。実現に向けた事業の実施または拡大に当たっては、安心して子育てができるかなどを総合的に考慮して決定していく。今後については、受入体制の充実も含めて考えていく。

一般質問



縄手博和  
(市政会)

特殊詐欺への敦賀市の対応について

**問** 敦賀市はどういった方法で特殊詐欺の被害を予防しているのかを伺う。

**答** 被害の未然防止や拡大防止を目的に、平成31年4月1日に敦賀市消費者被害防止ネットワークを設立し、市、警察、市内の各関係機関の連携を図っている。

敦賀市の観光資源について

**問** 水島がきれいに見える場所に展望台を作れないのかを伺う。

**答** 今後検討していきたい。

**問** アニメ「鬼滅の刃」と敦賀市の観光とのコラボをしないかを伺う。

**答** 現時点で予定はないが、今後、赤レンガ倉庫などが実施するイベントと連携していきたい。

一般質問



立石武志  
(同志会)

エネルギー政策について

**問** もんじゅ敷地内における試験研究炉新設について、議会としても説明を受けたが、雇用や地域経済などに対する考えが伝わってこなかった。研究者、技術者、学生などが敦賀に定住し、消費を行ってこそ地域振興に寄与すると考えるが、見解を伺う。

**答** 文部科学省が示した中出力の試験研究炉は産業利用にも期待でき、原子力以外の企業の利用が考えられる。試験研究炉を利用する企業の本市への進出につながるよう、国に具体化を求めていきたい。

**問** 東日本大震災以前より使用済燃料の乾式貯蔵を導入していた福島第一原発は、被災時、津波の影響により使用済燃料プールの冷却ができなくなったが、乾式貯蔵の金属容器に問題はなかった。乾式貯蔵によるサイト内保管について、見解を伺う。

**答** 原子力規制委員会も乾式貯蔵への移行を推奨しており、使用済燃料の搬出を前提に、搬出までのより安全な保管として、サイト内での一時的な乾式貯蔵の議論はあり得ると考える。

一般質問



福谷正人  
(市政会)

新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 先を見て状況を想定し、時宜に応じた対策を打つことが大事。この先の対策等について伺う。

**答** 国、県の対応を見て、市内の感染状況を踏まえ、経済活動、イベントなどを検討・決定していく。その判断基準は、あらかじめ決めておく必要があると思う。

新幹線開業に向けた戦略について

**問** 開業までの期間をどう考えているか。機運の醸成が進んでいないが、開業後を見据えて、機運醸成、観光客増、誘客促進に必要なものは何だと考えているか。

**答** 気比神宮周辺から駅前、門前の賑わい創出、空き店舗対策を含め景観整備やおしゃれな空間づくり。また金ヶ崎は飲食、物販施設を開業までに整備したい。ムゼウムだけでは足りない。お金を落としてもらう仕組みも考えていきたい。新幹線開業効果と新幹線効果を念頭に置きながら、民間とも連携してやっていきたい。

### 一般質問



山本武志

(市民クラブ)

**魅力ある第7次敦賀市総合計画の策定に向けて**

### 問

敦賀の歴史や誇れる産業技術などを世界に発信していくというのが、私の考える夢と希望に満ちたまちであり、戦略の中に織り込んでいただきたいと考えるが見解を伺う。

### 答

審議会にて審議していく。

### 問

これまで原子力を基軸とした産業の複軸化を計画に位置付けてきたが、この考えは踏襲されるのか。

### 答

原子力発電は基幹産業の一つであり、その認識は次期総合計画においても変わることはない。

### 問

一人でも多くの皆さんから共感を呼ぶ計画とするために、新たな手法も加えて進めていくべきではないか。

### 答

高校生や専門的知見を持った関係団体等からの意見聴取にて、より多くの市民の皆様の意見を反映し、策定していく。

### 一般質問



今川 博

(市民クラブ)

**日本遺産を活かした観光振興及び鉄道遺産の現地課題等について**

### 問

北陸新幹線開業を2年半後に控え、日本版DMOはこれからの観光振興において重要と思われる、観光地域づくり法人DMOへの登録、事業展開に向けた敦賀市の方向性を伺う。

### 答

DMOについては、商工会議所でも検討が進められており、県内外の状況を踏まえ、観光協会等関係団体の意見も伺いながら検討を進めていきたい。

### 問

旧北陸トンネル群バスツアーでの鉄道写真の展示や、休憩施設、博物館分館としての利用など、今後、旧葉原小学校の活用策が検討できないのか伺う。

### 答

今後の旧葉原小学校利活用については、令和3年4月の角鹿中学校開校に伴い廃校となる敦賀北小、赤崎小、咸新小等ほかの公共施設も含めて、市全体で検討していきたい。

### 一般質問



前川和治

(無所属)

**金ヶ崎緑地周辺について**

### 問

新ムゼウムが11月にオープンすることから、今後の金ヶ崎緑地周辺の誘客に期待が膨らむ一方で、赤レンガ倉庫ではコロナ禍により誘客が困難となり、維持管理費が増加している現実がある。現在のような状況下では、金ヶ崎緑地にある施設や人が一体となり、一緒に営業活動、誘客活動を行い、観光収入を向上させていくことが大事だと思いが見解を伺う。

### 答

金ヶ崎周辺を一つのエリアとして、新ムゼウムや赤レンガ倉庫、鉄道資料館、金ヶ崎緑地全体の施設、エリア全体を一体的なものと捉え、誘客促進を図ることは重要である。

金ヶ崎周辺を訪れるお客様が円滑に複数の施設を利用できる対応や、受入体制の構築など、エリアマネジメントの考えのもと、来訪される方に最もよい形でサービスを提示できる仕組みづくりを推進する。

### 一般質問



山本貴美子

(日本共産党敦賀市議員団)

**公共施設のこれからのあり方について**

### 問

公共施設等総合管理計画には保育所、幼稚園について、「私立保育所、幼稚園との役割分担による統廃合を検討」とあるが、保育所の統廃合、民営化はすべきでない。敦賀市の見解をお聞きする。

### 答

統廃合、民営化、長寿命化も含めて考慮し、公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定していくが、利用者の目線に立ち、子供たちにとっても保育環境が向上するような計画にしたい。

**生活困窮者支援について**

### 問

新型コロナウイルスの感染拡大で、暮らしに困窮する市民が増えている。市税、国保税等の滞納状況を一元的につかみ、市民の暮らしを守る視点で支援をすべきと考えるが、敦賀市の見解をお聞きする。

### 答

自立促進支援センターを中心に市役所内外の関係機関との連携も強化し、市民一人一人が安心して暮らせるまちの実現を目指していきたい。



一般質問



馬淵清和 (市政会)

産後ケア事業と助産師会からの要望について

市長は、助産師会からの要望書を受け取り、今後どのように対処されるか。

まずは本市の状況を踏まえて助産師会との話し合いを重ねていきたい。

敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて

再開に向け現在、何が問題になっているのか。

前指定管理者の運営不調、指定取消しの原因の究明、適切な運営費の算定が問題となっている。

一日も早い再開に向けての市長の思いは。

2つの委員会を実施し、適切な運営体制を検討していきたい。

一般質問



三國真弓 (無所属)

避難所の男女共同参画について

避難所の性暴力について、職員に対する啓発や情報共有だけでなく、市民への研修や育成などは行っているか。また、市民が避難所等で共助できるような心のケアのマニュアル等はあるか。

マニュアルは無いが、市民には避難所や災害時における研修や出前講座をしている。その研修等の1項目として取り入れていきたい。

広報のLINE活用について

使用料無料で始められ、ペーパーレスで郵送の際のガソリンやCO2もエコ、職員の労力やタイムラグも削減、市民の声も集めやすい。災害時にも紙媒体よりいち早く情報を届けられる。LINE公式アカウントを活用してはどうか。

LINE広報の導入に当たっては、業務量等の面や、現在利用している媒体のあり方も含め総合的に検討する必要がある。

必要がある。

一般質問



石川栄一 (市政会)

駅から始まる地域の活性化について

駅ピアノを北陸新幹線敦賀開業に向けて新幹線敦賀駅に設置してはどうかと考える。市民からそういった声も上がっているが、見解を伺う。

敦賀駅における駅ピアノ設置の可能性については、乗換旅客流動に影響がないことが前提となる。他のJR駅において、改札内では鹿児島県の川内駅や浜松駅、改札外では姫路駅や山口県の徳山駅などの事例がある。敦賀駅の設置については、新幹線開業後の旅客流動の状況を踏まえて、にぎわいの創出、敦賀の知名度やイメージの向上、旅行者や市民等の癒やしや、安らぎにつながるかなど、JR等関係機関等の意見、協議等を行いながら設置の可能性を研究していきたいと考えている。



請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみなさんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会で内容を確認し、全会一致で認められたものは、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります。それ以外は全議員に写しを配付します。

※郵送による陳情は認めておりません。

※請願、陳情の処理結果については、後日文書にて提出者に通知します。

## 一般質問



豊田耕一  
(同志会)

### 障がい者の自立に向けた取組について

**問** 障がい者雇用に改善が見られないため、敦賀市に対して厚生労働省から適正実施勧告が出されたが、障がい者の雇用数が大幅に不足している現状について、どのように改善するのか。

**答** 本採用試験のほかに会計年度任用職員募集も行うことで、障がい者雇用の向上や障がい者の就労支援を推進し、採用者が定着できる職場づくりに努めていく。

## 問

障がい者の保護者にとって最も気がかりなのが、自身の高齢化や子供の高齢化、自身が亡くなった後の子供の支援である。障がい者の重度化、高齢化や親亡き後を見据えた緊急時の受入れや対応等、地域の体制づくり、障がい者の生活を地域全体で支えるサービスの提供体制を構築する整備はどのように進めているのか。

## 答

敦賀市にとって必要性が高い相談、緊急時の受入れ、対応、体験の機会及び場の機能に対応できる事業所を確保し、これらの機能を有した地域生活支援拠点として、今年度末の整備に向け協議している。

## 一般質問



浅野好一  
(市政会)

### コロナ禍での防災対策について

**問** コロナ禍の中で、原子力災害時の広域避難の敦賀市の受入れと、避難先の受入体制に変わりはないか伺う。

**答** おおい町、高浜町の住民の広域避難先の敦賀市では、新型コロナウイルス感染症対策を実施して受入れを行う。また、敦賀市の広域避難先の福井市と奈良県の4市とは現在も協定書どおり、住民の避難についてご理解をいただいている。

### 新市庁舎での窓口スマート化について

**問** 新市庁舎での聴覚障がい者、視覚障がい者等様々な障がい者に対応した窓口について、手話対応、多言語対応等の対策を計画しているのか。

## 答

各課の窓口タブレット端末を整備して、視覚障害、口語障害等のスムーズな対応、また、ローカウンターを基本とし、車椅子及びベビーカー対応窓口整備、点字ブロッタや点字表示についてもバリアフリー新法に適合するよう整備していく。

## 一般質問



川端耕一  
(市政会)

### 金ヶ崎周辺エリアの整備について

**問** 金ヶ崎周辺エリアの整備について、敦賀市の方針と進捗状況を問う。

**答** 方針として3事業を定め推進する。1つ目は人道の港敦賀ムゼウムの整備・拡充。2つ目は民間活力導入による飲食・物販機能の整備。3つ目に鉄道遺産の活用である。

事業の進捗状況は、人道の港敦賀ムゼウムが今年11月3日のオープンに向け、準備中。飲食・物販機能の整備は、事業者を本年度中に公募、開業までに供用開始を予定。鉄道遺産の活用は、トワイライトエクスプレス関連部品の敦賀赤レンガ倉庫での企画展や、つるが鉄道フェスティバルでの活用を行っており、キハ28形気動車は敦賀赤レンガ倉庫での誘客策の一環として活用している。

ただし、転車台等を活用した施設整備は、コンテナヤードの代替地や土地の取得を含めた多額の初期投資・動態保存するための維持管理費等の課題があり、県と役割分担を含め再検討している。

議会だよりをスマホでご覧いただけます

自治体広報紙を配信する無料アプリ「マチイロ」から議会だよりを閲覧できます。

#### 閲覧の流れ

マチイロをダウンロードし、住んでいる地域として「敦賀市」を登録すると、議会だより発行のお知らせがスマートフォンまたはタブレット端末に届き、アプリで読むことができます。

#### 利用上の注意

- ・マチイロは、株式会社ホープが作成したものです。
- ・アプリ閲覧中に表示される広告の内容については、市は一切責任を負いません。
- ・アプリのダウンロードや閲覧による通信料は利用者負担となります。



ダウンロード用QRコード

一般質問



今大地晴美

(無所属)

金山最終処分場について

現在の進捗状況を伺う。

問

答

平面測量は現地の測量を終え書類の作成を、実施設計業務は、立面図などの設計図書を作成・工事費の算定などを行っている。用地の取得は仮契約から本契約に移行し、補償物件の移転後、引き渡しとなる。物件移転補償についても全ての対象者と契約を締結しており、相手方において物件の移転を行っている。いただいている。

問

12月31日が移転の期限とのことだが、期日までに移転ができなかった場合、また計上された予算が執行できなかった場合、今後どういうふうに進んでいくのかを伺う。

答

現在は契約に基づく相手方の移転の履行期間中である。相手方の不履行を前提とした話は、現在相手方も移転の手続を行っているところなので、質問の内容については答弁を差し控えた。

一般質問



中道恭子

(公明党)

敦賀市が目指す地域共生の取組について

新生児訪問事業の訪問実績と、支援が必要な方への継続支援、他機関連携について伺う。

問

答

今年度は7月末現在で90・1%の訪問率。訪問できなかった方も、100%状況把握できるよう努めている。継続支援は、こんにちは赤ちゃん訪問で確認した家庭の状況や母親のメンタル面の課題など、関係機関と連携し、寄り添う支援を行っている。子育て総合支援センター、出産した医療機関、児童相談所など他機関からつながるケースもあり、妊娠期から切れ目のない支援ができるよう対応している。

問

複合的な困難を抱えている人への支援は、重層的な支援体制整備事業の推進が必要と考えるかを伺う。

答

本市では、窓口での相談内容から、必要な支援につなげられるよう他分野との連携を強化している。今後はまだ取り組めない参加支援、地域づくりに向けた支援を研究していきたい。

一般質問



松宮 学

(日本共産党 敦賀市会議員 団)

中小企業者事業継続支援給付金について

いまだに新型コロナウイルスの影響により生活が厳しい中小企業者に寄り添い、2回目の支援給付をすべし。

問

答

国や県でも支援があり、市も新しい生活様式対応支援事業の申請を受け付けており、それを活用してほしい。

敦賀市の介護支援制度と介護の現状について

問

グループホームの低所得入所者の利用料に減額制度を適用をすべし。

答

介護保険料への影響が想定されるため、現在、実施予定はない。

問

8月から市が実施している家族介護者負担軽減事業は、一人の介護者が二人以上を介護している場合に対象だが、老介護世帯も対象とすべき。

答

まずは多重介護世帯から実施し利用状況の確認を行い判断する。

議会傍聴について

傍聴を希望される方は、市庁舎5階西側の傍聴受付までお越しください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱・咳等の症状のある方はマスクを着用されたい。方の傍聴は控えさせていただきます。ご自宅での検温、マスクの着用について、ご協力をお願いいたします。

傍聴の流れ

受付簿に氏名、住所、年齢をご記入の上、交付される傍聴券を持って傍聴席または委員会室傍聴席にお入りください。傍聴を終え、退場される際には、傍聴券を返還してください。

本会議の傍聴

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。受付：市庁舎5階傍聴者ロビー 定員：48人(先着順)

委員会の傍聴

各常任委員会・特別委員会は原則として公開しています。受付：市庁舎5階議会事務局窓口 定員：10人(先着順)

# 審議結果一覧

令和2年第5回定例会では、令和2年度各会計補正予算案6件、条例案2件、一般・人事議案14件、報告議案8件、議会提出議案2件、請願2件が審議されました。  
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

## 市長提出議案

### 1 予算

件名	付託委員会	結果
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第12号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第13号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市国民健康保険（施設勘定の部）特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
令和2年度敦賀市一般会計補正予算（第14号）	予算決算	可決

### 2 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（令和2年度敦賀市一般会計補正予算(第11号)）	承認
専決処分事項の報告の件（令和2年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第4号)）	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）	報告のみ
継続費精算報告の件（令和元年度敦賀市一般会計）	報告のみ
継続費精算報告の件（令和元年度敦賀市産業団地整備事業特別会計）	報告のみ
健全化判断比率の報告の件	報告のみ
資金不足比率の報告の件	報告のみ
公立大学法人敦賀市立看護大学の令和元年度及び第1期中期目標期間における業務実績に関する評価結果の報告の件	報告のみ

### 3 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市諸収入金督促手数料および延滞金徴収条例等の一部改正の件	総務民生	可決
市立敦賀病院医療従事者修学資金貸与条例の一部改正の件	文教厚生	可決

### 4 一般・人事

件名	付託委員会	結果
敦賀市立小中学校学習用端末購入の件	文教厚生	可決
損害賠償の額の決定及び和解の件	文教厚生	可決
令和元年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	予算決算	認定
令和元年度市立敦賀病院事業決算認定の件	予算決算	認定
令和元年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	可決
令和元年度敦賀市水道事業決算認定の件	予算決算	認定
令和元年度敦賀市下水道事業利益剰余金処分の件	産経建設	可決
令和元年度敦賀市下水道事業決算認定の件	予算決算	認定
市道西浦2号線色浜トンネル（仮称）工事請負契約の件	産経建設	可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件（5件）	—	同意

## 議会提出議案

件名	付託委員会	結果
敦賀市手話言語条例の制定を求める決議の件	—	可決
「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」提出の件	—	可決

## 請願・陳情

件名	付託委員会	結果
日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願	総務民生	不採択
「敦賀市手話言語条例（仮称）」の制定を求める請願	文教厚生	採択



# 議会日誌

令和2年6月29日以降の主な議会活動の紹介です。

- 7月**
  - 17日(金) 広報広聴委員会
  - 27日(月) 議員説明会
  - 29日(水) 各派代表者会議
- 8月**
  - 11日(火) 各派代表者会議
  - 24日(月) 議員説明会
  - 25日(火) 議会運営委員会
  - 27日(木) 議員説明会
- 9月**
  - 1日(火) 全員協議会、本会議(9月定例会開会)、議会運営委員会
  - 2日(水) 予算決算常任委員会全体会・分科会、文教厚生常任委員会、
  - 9日(水) 本会議(一般質問)
  - 10日(木) 本会議(一般質問)
  - 11日(金) 本会議(一般質問)
  - 14日(月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
  - 15日(火) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
  - 16日(水) 市庁舎建設対策特別委員会
  - 23日(水) 議員説明会、予算決算常任委員会全体会(決算基本質疑)、各派代表者会議
  - 24日(木) 予算決算常任委員会分科会(決算審査)、産経建設常任委員会
  - 29日(火) 予算決算常任委員会全体会、議会運営委員会、広報広聴委員会
- 10月**
  - 2日(金) 議会運営委員会、全員協議会、予算決算常任委員会全体会・分科会、産経建設常任委員会、本会議(閉会)
  - 20日(火) 広報広聴委員会
  - 22日(木) 議員説明会、各派代表者会議
  - 26日(月) 福井県市町議会議員合同研修会
- 11月**
  - 20日(金) 議会運営委員会
  - 30日(月) 本会議(12月定例会開会)

## 敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成27年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

[https://www.city.tsuruga.lg.jp/about\\_city/parliament/shigikai\\_top.html](https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/shigikai_top.html)

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157  
 住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号  
 発行所: 敦賀市議会  
 委員: 山本 貴美子、豊田 耕一、川端 耕一、林本 恵子、山本 武志、今野 晴美、中野 恭子、副委員長 浅野 好子、委員長 浅野 好子  
 広報広聴委員長 浅野 好子



## 12月定例会の日程(予定)

11 November ~ 12 December 2020

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
11/15	16	17	18	19	20 告示日	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30 本会議 (議案説明・質疑)	12/1 予算決算 常任委員会	2	3	4	5
6	7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 常任委員会	12
13	14 特別委員会	15 特別委員会	16 予算決算 常任委員会	17	18	19
20	21 本会議 (報告・採決)	22	23	24	25	26